

NIMS保有特許情報の一例

2014年4月～2014年7月審査請求済み特許出願

通し番号	出願番号	出願日	公開番号	出願人	発明の名称	要約
1	2011-096660	2011/4/25	2012-229455	独立行政法人物質・材料研究機構	強度、延性及び衝撃エネルギー吸収能に優れた高強度鋼材並びにその製造方法	本発明は、建造物や橋梁等の構造物、自動車の足回り鋼材、機械用歯車等部品に使用される鋼材として、高強度かつ高延性で、エネルギー吸収能に優れた厚鋼板、形鋼、異形棒鋼、棒鋼及び鋼線等の鋼材を製造するため、安価なMn及びSiを添加した低C鋼を素材とし、短時間圧延処理により、 γ/α 生成比率を制御した2相組織鋼材を提供することにより解決するものである。
2	2011-100254	2011/4/27	2012-233694	独立行政法人物質・材料研究機構	鉛イオン吸着性化合物を担持したメノポラスシリカおよびそれを用いた鉛イオンセンサー及び鉛回収方法	有機シリコン化合物および界面活性剤から作製した高秩序化メノポラスシリカ(HOMS)に、目標金属である鉛を選択的に吸着するキレート化合物等の鉛イオン吸着性化合物を担持させる。その鉛イオン吸着性化合物を担持したHOMSを目標金属である鉛が溶解された溶液と接触させ、目標金属である鉛イオンを選択的にHOMSに担持された鉛イオン吸着性化合物に吸着させる。目標金属である鉛イオンを吸着した鉛イオン吸着性化合物を担持したHOMSを化学的処理し、目標金属である鉛イオンをHOMSに担持された鉛イオン吸着性化合物から遊離させ、目標金属である鉛を回収する。鉛イオンが遊離された鉛イオン吸着性化合物を担持したHOMSは、再使用できる。この鉛イオン吸着性化合物を担持したHOMSは鉛濃度検出センサーとしても使用できる。
3	2011-102759	2011/5/2	2012-231743	独立行政法人物質・材料研究機構	短繊維足場材料、短繊維-細胞複合凝集塊作製方法及び短繊維-細胞複合凝集塊	細胞とともに培養することにより、内部への循環経路が自己形成された細胞凝集塊を得ることを課題とする。平均長が $2\mu\text{m}$ ～ 5mm の短繊維を培養液に添加して細胞培養を行うことにより、多孔質の短繊維-細胞凝集塊を形成することができる。
4	2011-104571	2011/5/9	2012-232070	独立行政法人物質・材料研究機構	粘着性基材及びその製造方法	本発明は、生体内において安全で、生理的条件下において体温付近の温度下において短時間で実用的な粘着性を発現する粘着性基材を提供することを課題とする。ポリリンゴ酸とゼラチンが共有結合架橋されたポリリンゴ酸架橋ゼラチンゲルと、尿素とを有する粘着性基材11を用いることによって前記課題を解決できる。
5	2011-111055	2011/5/18	2012-240873	独立行政法人物質・材料研究機構	I3-を有する層状複水酸化物およびその製造方法	層状複水酸化物およびその製造方法を提供することであり、詳細には、I3-を有する層状複水酸化物およびその製造方法を提供することを課題とする。本発明による層状複水酸化物は、M12+イオンとM23+イオンとを含有するホスト層と、アニオンを含有する中間層との積層構造からなり、M12+イオンの元素M1は、Co、Fe、NiおよびZnからなる群から少なくとも1つ選択される遷移金属であり、M23+イオンの元素M2は、Coおよび/またはFeの遷移金属であり、モル比(M23+/M12+)は1/2であり、アニオンは、I-イオンとI3-イオンを含む。
6	2011-112462	2011/5/19	2012-240884	独立行政法人物質・材料研究機構	高誘電性ナノシート積層体、高誘電性ナノシート積層体、高誘電体素子、および高誘電体薄膜素子の製造方法	コンデンサなどに好適な、非常に薄くても高い誘電率と良好な絶縁特性を同時に実現する高誘電体薄膜を提供することを課題とする。この課題は、ペロブスカイト構造を有する酸化物ナノシートなどの高誘電体により構成される薄膜により達成される。
7	2011-125098	2011/6/3	2012-251219	独立行政法人物質・材料研究機構	耐熱チタン合金	本発明は、室温で優れた延性を有し、 650°C から 800°C の温度範囲で高強度を示す耐熱チタン合金に関するものである。詳しくは、本発明のチタン合金は、Alを5から10mass%、Sn、Zrのうちの1種以上を0.1から10mass%、Mo、Vのうちの1種以上を0.1から5mass%、Scを0.01から5mass%、及び、残部がTi及び不可避不純物からなる。更に、固溶強化により優れた高温強度を有する α 相をメインとし、Sc 2O_3 と α 2-Ti3Al化合物によりいっそう強化し、加工性に優れた β 相を5%以下導入することにより、室温延性と高温強度のバランスがよい耐熱チタン合金を提供できる。